



Press Information

VPR10-046

2008年10月7日(火)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

VGJ 豊橋インポートセンター「明海埠頭第1号岸壁」改修工事を完了 引き続き高品質なフォルクスワーゲンを全国のお客様にお届けするために

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:ゲラシモス ドリザス、本社:愛知県豊橋市、略称:VGJ)と株式会社総合開発機構(本社:愛知県豊橋市、代表取締役社長:中村捷一)は、1992年からVGJがフォルクスワーゲン グループ各社の完成車両の陸揚に使用してきた「明海埠頭第1号岸壁」の改修工事を完了すると共に、20年間のリース契約を新たに締結しました。陸揚作業は10月7日(火)にドイツ・エムデン港から入船した Georgia Highway 号以降、本格的に再開します。

株式会社総合開発機構が所有する「明海埠頭第1号岸壁」は、これ迄に世界各国の生産工場から自動車専用船で輸送されてくるフォルクスワーゲン車などの完成車両を累計96万台(2008年9月末時点)陸揚してきました。「栈橋式」の同岸壁は海中から屹立する鋼鉄製の杭が上部を支える構造となっています。今回は竣工以来の塩害による経年劣化に加え、近年大型化する自動車専用船の接岸に耐える強度の確保を目的として、主構造体の杭を補強すると共に上部を刷新する大規模な改修を行いました。

VGJでは今回の改修工事および長期リース契約の再締結により、これまで以上に安全な陸揚作業と効率の良い新車整備が可能となりました。これにより日本のお客様には引き続き高品質なフォルクスワーゲンおよびグループ各社の完成車両をお届けすることができます。

フォルクスワーゲン、アウディ、ベントレー、ランボルギーニ各車。ならびに輸入業務を受託しているポルシェ車。

「明海埠頭第1号岸壁」および改修後の第1船に関する詳細は下記の通りです。

記

【岸壁関連情報】

正式名称	明海埠頭第1号岸壁(1992年竣工、栈橋式構造)
所有者	株式会社総合開発機構(愛知県豊橋市 代表取締役社長 中村捷一)
岸壁面積	9,450 m ² (名古屋市瑞穂陸上競技場サッカーコート:約7,200 m ² の1.3個分)
工期/総工費	平成19年4月11日~平成20年9月30日(18ヶ月間)/15億円
契約形態	20年長期リース

【改修後の第1船情報】

第1船	Georgia Highway 号(ジョージア ハイウェイ、9月3日ドイツ エムデン港出港)
積載内訳	1,841台(VW:756台、アウディ:988台、ランボルギーニ:2台、ポルシェ:95台)
船籍/船籍港	日本 神戸(2007年12月竣工、豊橋造船建造)
総排水量など	56,973トン(出力:11,935kw、速力:20.0kt) 全長:199.94m、全幅:32.26m、喫水:9.826m、乗用車積載数:6,135台